

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
①障がいのある人の状況に応じた日中活動の場を確保	◇日中活動系連絡会・就労支援連絡会合同連絡会 年3回(6月, 10月, 2月)	P. 52 (2)	④第1回日中活動系連絡会・就労連絡会合同連絡会 6月10日開催 日中活動系連絡会 【参加者 16名】 就労連絡会 【参加者 22名】 内容 (1)近況報告、情報共有 【グループワーク】 (2)BCP策定について (3)事業所の課題、困り事について	④(1)各事業所の近況を知り、情報共有できた。 (2)(3)「各事業所、BCPマニュアルの策定は終わっているが、研修や訓練方法が分からない」「必要な方に相談員を付けられない」「4月の報酬改定で改定内容が分からず、気軽に相談できる事業所間の繋がりが欲しいと感じた」「就労選択支援の内容が分からず研修があると良い」などの意見があり、今後、連絡会で取り組んでいく課題の抽出ができた。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
	◇事例検討会		⑤第2回日中活動系連絡会・就労連絡会合同連絡会 10月28日開催予定		終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
①市民のスポーツ大会・イベント等に障がいのある人の参加を促進する	◇愛知県内、小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の開催案内の周知協力(小牧市障がい者(児)スポーツレクリエーションや、小牧市障がい者作品展「こまきアール・ブリュット展」等のイベント)	P. 56 (3) P. 66 (3) (4) (5)	「とよめサロン」の作品展への出展募集案内	現在1事業所の応募あり(11月展示)	終了・継続 → 同じ・変更	
②障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実を図り、障がいのある人の文化芸術活動を支援			あいちアール・ブリュット展の開催案内を各事業所へ案内	あいちアール・ブリュット展の周知に繋げることができた。	終了・継続 → 同じ・変更	障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実のため継続する。
③障害のある人の余暇活動や地域活動の支援を行うボランティアの育成						
④障がい者施設による物販の機会の充実	◇ボランティアセンターが小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーションに例年ボランティアとして参加される個人やグループ、企業に協力を促す。また、市広報でボランティアを募集する					
⑤余暇活動の場の充実 ☆					終了・継続 → 同じ・変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
☆続き	◇ボランティアセンターが障がい者ガイドボランティア養成講座を隔年開催	P. 38 P. 46 P. 47	ボランティア養成講座 ・手話ボランティア（昼の部）：受講人数11名 ・要約筆記ボランティア：受講人数2名 ・音訳（朗読）ボランティア：受講人数8名 ・点訳ボランティア：受講人数6名		終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
☆続き	◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催 年1回 ・障がい者施設による物品の販売 ◇小牧市内で行うマルシェを周知し、出展を促す	P. 38 P. 46 P. 47	④にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせ 2ヶ月に1回開催 【担当者 7名】 保護者向け事業所紹介&個別相談会にて『にじカフェ』開催 ⑤「とよめサロン利用活性化プロジェクト」への協力 ・物販 第1回 7月30日 【4事業所参加】 【マルシェ来場者約50名】	④保護者向け事業所紹介会場内に、にじカフェブースを設けたことにより、保護者同士の交流の場となり、事業所スタッフや相談支援専門員とは進路先の相談が出来る場となった。 ⑤初めて出店する事業所もあり、地域の方々に、新たな福祉サービス事業所を知っていただき、手作り商品を購入していただくことができた。また、利用者ご家族も来場いただくことができた。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
☆続き	◇サンデーボランティア主催のボッチャの周知協力	P. 38 P. 46 P. 47	サンデーボランティア主催 身体障害者福祉協会協力 「ボッチャ教室」参加者 4月：20名 5月：16名 6月：12名 7月：21名 【社協だより12月号】に、障がい者週間の啓発として、ボッチャ教室の紹介を行う予定)	継続して来られる方や、参加者からの紹介、親子での参加やヘルパーと一緒に参加される方、個人ボランティアの継続的な参加など、様々な方に参加いただき、少しずつ周知されてきた。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①障がい児と保護者への総合的な支援 ②卒業後の多様な進路の確保	◇「保護者及び教員向け進路先説明会」の開催 ・生活介護事業所、就労支援事業所等の紹介 ・卒業後の進路相談	P. 42	保護者及び教員向け進路先説明会 8月23日開催 【参加保護者 59名】 【参加教員・事業所関係者 15名】 出展ブース 【参加法人 20法人】	参加対象者を特別支援学校に通う全校生徒と教員を対象とした事、特別支援級に通う児童の保護者と教員にも開催を周知した事で大幅な参加者増となった。 保護者や教員からの参加後アンケートより、「制度の理解が出来た」「進路先の情報が聞けて心が軽くなった」「担当者と直接話せるのが良かった」「来年も開催して欲しい」との意見があった。 一方で参加者が増えた事で「ブースを回る時間が無かった」「相手の声が聞こえなかった」などの意見もあった。	終了・継続・変更 (※) 	来年度は連絡会事業所から意見収集し、開催方法などを検討する。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更